

2019 まちづくりアドバイザー活動事例集

【北 区】	(担当：西原 秀倫)
原谷地域の賑わい拠点づくり.....	1
北区つながるワークショップ.....	1
【上 京 区】	(担当：松井 朋子)
乾隆学区の「まちづくりビジョン」づくり.....	2
「上京アーカイブ」に伝統・風習の記録を残す 第一弾「地藏盆」.....	2
【左 京 区】	(担当：大塚 敏之)
「セカンドライフをいきいきと生きる～左京・からだの学校～」.....	3
「あおいこども食堂」.....	3
【中 京 区】	(担当：深川 光耀)
「イチバンボシギフト（中京区編）」.....	4
中京区役所 なかなかプロジェクト.....	4
【東 山 区】	(担当：加藤 ゆうこ)
まちづくり支援事業とまちづくりカフェの課題解消支援.....	5
地域力アップ学区活動連携支援事業での学区と関連諸団体との連携支援.....	5
【山 科 区】	(担当：佐藤 友一)
“町内会・自治会からの相談への対応”.....	6
市民しんぶん山科区版連載記事「区民活動“きすな”リレー」.....	6
【下 京 区】	(担当：天岡 昌代)
松原通の価値を上げる！松原ビールの開発と販売.....	7
区長 meet up.....	7
【南 区】	(担当：山本 一貴)
WEBサイトやSNSを活用した南区情報発信.....	8
南区民ふれあいカフェ「みなみなみなみ」.....	8

【右京区】	(担当：朝倉 眞一)	
嵯峨野学区民生児童委員会のワークショップ研修		9
広沢池保存計画策定に向けたワークショップ		9
【西京区】	(担当：田尾 純子)	
地域力サポート事業		10
「西京結び」から生まれたグループへの支援		10
【西京区洛西支所】	(担当：吉田 泰基)	
上里地区のまちづくりビジョンづくり		11
なんやかんや「大原野」Instagram フォトコンテストの開催		11
【伏見区】	(担当：亀村 佳都)	
伏見をさかなにざっくばらん		12
伏見エコライフプロジェクト		12
【伏見区深草支所】	(担当：白水 育世)	
『深まるねっと2018』（まちカレ&まちサポ）の事業企画運営		13
藤森・地域力アップ学区活動連携支援事業の運営支援		13
【伏見区醍醐支所】	(担当：谷 亮治)	
醍醐映画プロジェクト		14
職員研修講師		14
【地域コミュニティサポートセンター】	(担当：小林 明音)	
自治会・町内会等のサポート		15

原谷地域の賑わい拠点づくり

【事業概要】

金閣学区の原谷乾町は、約1,700世帯が暮らす大きな町内会です。山裾に開拓された地域なので、自然環境の豊かさを活かした、魅力的な地域にしようと「原谷地域まちづくり計画」を策定し、取組を進めています。地域内6つのエリアを調整する原谷地域連絡協議会が、認可地縁団体として法人化を果たし、清掃やお祭りなどで培われてきた住民間の結束をさらに高めるため、交流拠点づくりを進めています。子育て世代や高齢者の居場所、文化芸術の振興や防災の拠点など、多様な可能性が期待されています。



【役割／関わり方】

地域主体の取組みを、効果的に進めるための側面的な支援

- 会議の運営や意見の収集など、対話や交流を促す環境づくり
- 建設の計画や資金集め、規約づくりなど拠点づくりに向けた助言
- 地域住民の理解を得るための、ニュースレターなど広報への協力

北区つながるワークショップ

【事業概要】

北区のまちにつながるのがある人が集い、楽しみながらまちを豊かにすることを目指して、北青少年活動センター・北いきいき市民活動センター・北区社会福祉協議会・北区役所が連携し、2014年から交流の場づくりを進めてきました。

今年度は『あなたの遊び心が、まちを楽しくする』をテーマに、全4回実施。若い世代（子育て世代等）が興味を持ちそうなテーマを選定し、そのテーマに沿った魅力的なゲストを迎えることで、多くの「ご新規さん」にご参加いただきました。



【役割／関わり方】

多様な活動団体や個人が、連携や交流を育む場づくりを支援

- 運営に関わる機関が強みを活かせる環境づくり
- まちづくりへの参画を促す企画やプログラムへのアドバイス
- 参加者がまちづくり活動へ関わるための助言や協力

乾隆学区の「まちづくりビジョン」づくり

【事業概要】

自治会・町内会をはじめとする様々な方々が集う地域の輪を広げることを目的として、乾隆学区と区役所が協力し、学区が目指すべき「まちづくり」の将来像を描き、それを見える形とするために、ワークショップ等を開催してリーフレットを作成しました。



【役割／関わり方】

調査から丁寧に段階を踏み、学区の人が自らの「ビジョン」と感じる工夫をしました！

- 学区内の統計資料、歴史資料等基本情報の収集、整理
- 住民、団体に対してのアンケート、ヒアリング等の実施と分析
- 2回のワークショップのデザイン、当日進行、取りまとめ
- ワークショップに参加する同志社大学生と学区の調整
- リーフレットデザインの案出しと調整
- 全体のスケジュール管理

「上京アーカイブ」に伝統・風習の記録を残す 第一弾「地蔵盆」

【事業概要】

上京ふれあいネット「カミング」から派生し、上京の伝統・風習を調査シートや写真等で記録を残すプロジェクトです。第一弾は「地蔵盆」。市民しんぶん、SNS 等で呼掛け、記録を提出いただきました。時代の移り変わりで消えそう、姿を変える風習等を今のうちに記録することで、将来に役立つことを目的としています。まだ収集段階ですが、今後「カミング」での紹介や、展示などの活用も検討しています。



【役割／関わり方】

将来に役立つ調査ができるよう、手法の学びと実践、そして記録を残す重要性の発信！

- ヒアリングの仕方、調査シート作成のための勉強会（民俗学的見地）の実施
- 情報収集のため、SNS 等での情報発信
- 提出された資料の整理
- 伝統・風習の記録を残す重要性と継続した収集の必要性を各所で発信
- 協力者づくり
- 第二弾の準備

【左京区】

「セカンドライフをいきいきと生きる～左京・からだの学校～」

【事業概要】

左京区では、平成29年度から“セカンドライフをいきいきと生きる”をテーマに、シニア世代を対象とした『左京・からだの学校』を開校しています。

昨年度は、授業の企画やワークショップのお手伝いをさせていただきましたが、今年度は卒業生の有志が集まって立ち上げられた「OB会」の活動を支援させていただきました。

多様な活動があった中で、一番印象に残っているのは、OB会のみなさんがモデルとなって開催した「シニアファッションショー」です。“いきいきした笑顔”でランウェイを闊歩されるメンバーの姿が印象的でした。



【役割／関わり方】

区民によるまちづくり活動に対する全般的な支援

- 組織の運営と方向性に関するアドバイス
- 取組み事業の企画・運営に関するサポート
- 相談対応（求められる情報の提供や人材紹介など）

「あおいこども食堂」

【事業概要】

「あおいこども食堂」は、葵学区の民生児童委員会と就労継続支援事業所の協働で、こどもの居場所づくりを目的に、月2回の頻度で開催されています。

立ち上げ当初は、運営全般についてスタッフのみなさんと議論をし、こども達の遊び相手をしてくれる大学生とは、こども達の満足度をいかにして高めるかを検討してきました。

運営が軌道に乗ってきた現在では、一步引いた立ち位置から、運営スタッフと大学生ボランティアとの調整役を担うなど、こども食堂を側面から支援しています。



【役割／関わり方】

複数の主体による協働事業に対する企画・運営支援

- 事業の企画・運営に関するアドバイス
- 運営スタッフと学生ボランティアとのマッチング
- 学生ボランティアの受入れ支援と活動サポート

【中京区】

「イチバンボシギフト(中京区編)」

【事業概要】

イチバンボシギフトは、0歳児とその家族の誕生を祝し、市民・企業・行政が協力して「愛情たっぷりのギフト」をお届けする事業です。中京区では、2年前から社会的企業と連携し、野菜のギフトとベビーブセットを提供してきました。

3年目に当たる今年度は、京・東寺 うね乃と連携のあり方を検討するために、中京クーチャーセンターを協議の場としながら、対話を重ねました。その結果、うね乃との連携関係を構築し、新たに「離乳食ワークショップチケット」をギフトに加えるに至りました。



【役割/関わり方】

中京クーチャーセンターのディレクターとして、アクションの創出を支援

- アクションナビゲーター（京都市ソーシャルイノベーション研究所）とのマッチング
- クーチャーセッションでのファシリテート

中京区役所 なかなかプロジェクト

【事業概要】

中京区役所の有志職員による自己研鑽等を目的としたプロジェクト「なかなかプロジェクト（平成27年度から継続）」の企画・運営をサポートしました。

今年度のプロジェクト（全7回）では、自らの成長とそれによる業務の質的向上を目的に、アンガーマネジメント、アサーション、ストレングスファインダーを講座形式で学びました。上記の講座内容は、プロジェクトの初期段階に、有志から学びたいことをポストイットで募ったうえで、ドット投票して決定したものです。研修内容の検討・決定への有志の参加をデザインすることによって、学ぶ意欲の醸成を図りました。



【役割/関わり方】

プロジェクトの企画・運営のサポート

- 講座に対するアドバイス
- スtrenグスファインダー講座のファシリテーター

【東山区】

まちづくり支援事業とまちづくりカフェの課題解消支援

【事業概要】

これまで、まちづくり支援事業は、助成金交付以外の支援のフォローがなかなかできず、まちづくりカフェ事業は、メンバーの広がりが少ないことなどが課題でした。

そこで、30年度第2回のまちカフェを、ライブポスターセッション形式で互いの活動を紹介しあう場としました。団体がプレゼンに慣れ、参加者からヒントを得るだけでなく、団体に属さない人にも見本市のように楽しくさまざまな活動を知ってもらうようにしました。当日は16団体からブース出展があり、分野や所管の異なる団体同士が知り合える初めての場となりました。



【役割／関わり方】

支援事業とカフェ事業のそれぞれの課題を同時に解決する方法を提案しました

- 聞きたいところに自由に行けるよう、参加者の行動をできるだけ自由にしました。
- 参加団体への出展ハードルを下げするため、写真を持ち寄れば、あとはその場で書き込みながら話せる気軽なライブポスターセッションとして呼びかけました。
- 情報発信の少ない団体にできるだけ事前に直接会って、参加を呼びかけました。
- 区内にある中間支援団体や外郭団体、NPO等にも参加を呼びかけました。

地域力アップ学区活動連携支援事業での学区と関連諸団体との連携支援

【事業概要】

地域力アップ学区活動連携支援事業に取り組む貞教学区の活動について、区役所の担当者などと共にサポートしました。事業プログラムに含められるか否かわかりにくい課題が多く、それらについて関係各所との関係構築・再構築のため20以上のセクターとのコーディネートをしつつ寄り添いました。

学区の目標の一つである大学連携については、地域と教員、職員、学生が直接顔を合わせて事業に取り組めるよう、顔合わせの会議を設けたり、地域から学生への声かけの場面を作ったりして、双方に安心感・親近感・関心を高めてもらえる機会を作りました。



【役割／関わり方】

目標である大学連携のための環境整備を中心に、協力可能な団体の発掘を続けました。

- 大学生を地域の一員としてどう見守り育てることができるか、地域の大きな期待と地道な取組との間をつなぎました。
- 学区と地域資源、学区と大学、大学と地域資源の網の目を一つずつつなぎ、たくさんの関わりが地域を支え得ることをそれぞれに伝えました。
- 学区の各種団体同士の活動の相互理解促進を意図したミニワークショップや、地域の人自身が語れる場としてのワークショップを提案し、運営を支援しました。

この事業を担当したアドバイザー 加藤 ゆうこ

町内会・自治会からの相談への対応

【事業概要】

近年、区役所の地域力推進室に寄せられる町内会に関しての相談が増えてきています。役員の担い手不足など町内会運営の困難に直面していたり、新築マンションにおける町内会の立ち上げについて自治連合会から相談を受けたりなど幅広い内容です。地域力推進室の職員とともに状況をお聞きし、行政の支援策や他地域事例の紹介、運営面へのアドバイスなどサポートを行っています。



【役割／関わり方】

町内会運営の立場に寄り添ったサポートを意識して相談にのっています。

- 担い手が高齢化して運営が困難になっている町では、役員とその町の所属する学区自治連合会役員と共に意見交換し、住民が学区事業のメリットを享受できていないことがわかりました。そこで住民が参加しやすい学区事業として「健康ひろば」を町に近い場所で開催できるよう区役所と共に協力しました。
- 町内会と自治連合会との関係に配慮して慎重に進めています。

市民しんぶん山科区版連載記事「区民活動“きずな”リレー」

【事業概要】

区民と行政が協働で策定した第2期山科区基本計画の推進を後押しするために、区民の活動取材し、市民しんぶん山科区版で紹介する目的で始まった「区民活動“きずな”リレー」。取材する活動の大半が山科“きずな”支援事業の採択事業であり、その“きずな”支援事業の具体的な活動の様子を紹介する役割も担っています。平成23年度から連載をスタート。平成30年度は6回掲載され、合計で60回掲載されました。



【役割／関わり方】

企画、取材、記事作成、および活動内容の相談対応。

- 活動に取り組む方の熱意や活動をする上での工夫などが伝わるような文章を目指しています。
- 取材の際に、課題もお聞きし、活動内容へのアドバイスの役割を果たす場合もあります。

この事業を担当したアドバイザー 佐藤 友一

【下京区】

松原通の価値を上げる！松原ビールの開発と販売

【事業概要】

松原通界限活性化活動プロジェクト委員会（洛央小学校校区である7学区の有志が運営）による「松原フューチャーセッション」で発案された松原通の認知度をあげる取組，クラフトビールの開発と販売を行いました。クラフトビールは若い人の関心が高いことから，松原通の歴史と文化に気軽に触れてもらうことが出来るだろうという視点でこのプロジェクトに取組みました。下京区の企業と一緒にビールの開発を行い，醸造は菊浜学区の京都ビアラボが，ラベルデザインは松原通の aeru gojo が担当してくれました。命名にもこだわり，五条界限を舞台にした『源氏物語夕顔巻』から「夕顔」，松原通に昔祇園祭の先祭が巡行していたことから「お囃子」と名付けて，松原通の飲食店やイベントでの販売を行いました。



【役割／関わり方】

松原通界限活性化活動プロジェクト委員会の活動支援，企業との連携支援

- 松原フューチャーセッションの運営，提案されたプロジェクトを実践に移すためのサポート
- クラフトビールの人気度を示すための情報収集
- 命名についての地域情報の整理，祇園祭と『源氏物語』
- 京都ビアラボと aeru gojo との連携支援，事業説明と開発依頼
- 試飲会の準備と実施

区長 meet up

【事業概要】

「下京区 140 周年に向けての meet up～はじまりのはじまり～」というタイトルで，学区自治連合会の会長，市政協力委員連絡協議会の学区会長，下京区はぐくみネットワークのメンバーといった地域の方々に加えて，龍谷大学ボランティアセンターをはじめとする学生も交え，ワークショップを行いました。下京区 140 周年記念事業の共通テーマである「自分ごと，みんなごと」のまちづくり。10年，100年後も「住みたい」「はたらきたい」「訪れたい」と思われる魅力ある下京区を目指すために，まずは地域のまちづくりに携わられている地縁団体の方に，日ごろの取組やこれからやって行きたいと思われることなど，自由に意見交換していただく場として設定しました。



【役割／関わり方】

下京区 140 周年を契機にこれからのまちづくりについて，地縁団体の方々に考えていただけるようわかりやすく説明しました。

- ワークショップのプログラムづくり，パワーポイントの作成
- 当日の運営

この事業を担当したアドバイザー 天岡昌代

WEBサイトやSNSを活用した南区情報発信

【事業概要】

南区役所では、今年度新たに、インターネットメディアを通じて、区内の魅力的なヒト・モノ・コトを紹介する「みなみなみなみオンライン - 南区情報ステーション」を開始しました。区民が主役のまちづくりに向けて、まちへの関心を高めることを目的とするもので、新たな活動につながることを期待するものです。



具体的には、動画等のコンテンツを制作し、各SNS (YouTube, Facebook, Instagram, Twitter) やその結節点となるWEBサイト<<https://minami.city.kyoto.lg.jp/>>によって情報の発信と共有を進めています。カフェ事業との両輪で、南区のまちに関心のある人々をつなぐ働きになることを願っています。

【役割／関わり方】

事業の企画立案から運営実施に至る各段階で、調査、助言、提案、関係者間の調整等

- 事業の企画立案の過程での助言や提案、参考事例の情報提供や調査先の調整、プロポーザルの実施における運営面での助言、提案など
- 事業の実施にあたって、名称やロゴ等のデザイン選定に対する助言、区役所のまちづくり事業全体における位置づけ、関連づけの提案など
- 事業を運営する上で、企画内容や進め方に対する助言や提案、取材先の候補の提案及びコーディネートなど

南区民ふれあいカフェ「みなみなみなみ」

【事業概要】

南区役所では、区民が主役のまちづくりに向けて、平成28年度から、南区民ふれあいカフェ「みなみなみなみ」という対話型交流事業を進めています。南区のまちに関心のある人々が、集い、語り合い、つながる時間をつくることを目的とするもので、区民の主体的なまちづくりの推進を目指しています。

今年度までの3カ年度で計11回実施しました。会場として、公共施設のロビーや大型商業施設のパブリックスペースなどを活用し、区内の空間資源の発掘・発信にもなったと考えています。



【役割／関わり方】

関係者間の調整をしながら、空間・時間・情報媒体を含む事業の設計・実施

- 事業の企画立案にあたり、目的やプログラムの設計・提案、広報印刷物や当日配布資料等のデザイン案の作成、SNS等での情報発信方法の助言、会場関係者や話題提供者等のコーディネート、関係者間の調整など
- 当日の会場の設計及びプログラムの進行役など
- 参加者へのヒアリングによる、事業実施の効果に関する調査など

嵯峨野学区民生児童委員会のワークショップ研修

【事業概要】

嵯峨野学区の民生児童委員会より、ワークショップ手法を体験したいとの相談があり、合計5回の体験ワークショップを行いました。

メンバーのスキルアップとお互いの情報交換、そして気軽に話し合える雰囲気作りを目的に、付箋を使ったグループワーク、KJ法での意見整理、全体での発表・共有など、ワークショップの流れを丁寧



に体験する構成で実施しました。意見交換のテーマに、地域の現状や課題、今後に向けた取組を設定することで、学びの機会になるとともに今後の活動方針を考える材料集めの機会にもなりました。

【役割／関わり方】

ワークショップという手法を、今後も気軽に活用してもらえるように工夫しました。

- 専門的な内容もわかりやすく説明し、繰り返し体験することを通じて、ワークショップという手法に慣れていただくようなプロセスを提案しました。
- 無理なく意見が出せるようなプログラムを検討し、当日はワークショップにおいて気をつける点・進行のポイントなどのアドバイスも交えながら進行を行いました。

広沢池保存計画策定に向けたワークショップ

【事業概要】

市内でも貴重な風景を持つ広沢池の保存を考えるにあたり、地域住民と連携しながら公園として継承していくために、保存計画づくりに向けたワークショップが建設局みどり政策推進室を中心として進められました。



保存計画の策定に向けて、現状と課題、そして広沢学区などの地域のみなさんのニーズを把握して

いきました。さらに、今後の維持管理に向けて地域のみなさんがどのように関わっていくかという点も、大きなテーマとして意見交換を行いました。

【役割／関わり方】

ワークショップ当日のファシリテーター、プログラムの企画検討でのアドバイスなど。

- 広沢学区・嵯峨学区で右京区役所の事業も同時期に行われていることもあり、それらの事業の連携も視野に入れながら、地域の取組をサポートしました。
- 地域住民が関わる今後の管理運営など、ワークショップ終了後も見すえた意見交換ができるよう、プログラム検討時にアドバイスを行いました。

地域力サポート事業

【事業概要】

西京区では、区基本計画を推進するため、区内で活動を行う団体による自発的、主体的なまちづくり活動の経費を補助する「西京区地域力サポート事業補助金」を実施しています。

平成30年度は、41件の活動への補助金交付が決定されました。

また、補助金による支援だけでなく、活動に役立つ「地域力サポート講座」も開催しています。



【役割／関わり方】

区民の主体的な活動の支援

- 申請を考えている団体からの相談を受け、情報提供などを行いました。
- 交付団体からの相談を受け、コーディネートやアドバイスをしました。
- 交付団体の活動（イベント等）の運営補助を行いました。

「西京結び」から生まれたグループへの支援

【事業概要】

西京区では、平成29年度から、西京区内でまちづくり活動をしている人や団体をつなげ、地域の活性化を担う新しいつながりを構築する「西京結び」を実施しています。29年度に参加者それぞれの「得意なこと」や「思い」を共有することで生まれたグループのうちいくつかは、30年度から具体的な活動を始めました。

例えば、「西京住民防災ネットワーク実行委員会」は、地域の防災イベントへのブース出展、防災に関するラジオ番組の放送、防災エキスポの開催などを行いました。

また、西京結び全体として、それぞれのグループの得意分野を活かして「西京区民ふれあいまつり」にブースを出展しました。



【役割／関わり方】

区民の主体的な活動の支援

- 「西京結び」でのグループワークや各グループのミーティングにおいて、ファシリテートや進行補助などを行いました。
- グループからの相談を受け、コーディネートや情報提供などを行いました。
- グループの活動（イベント等）の運営補助を行いました。

【西京区洛西支所】

上里地区のまちづくりビジョンづくり

【事業概要】

西京区大原野の上里地区では、地域コミュニティを維持し、良好な住環境やまちなみを保全・形成するため、「市街化調整区域における地区計画制度」活用の検討を進めています。今年度は、上里地区の目指すべき将来像を地域全体で共有するため、まちづくりビジョンづくりに取り組みました。4回開催した意見交換会では、子育て中の保護者や地元農家をはじめとした地域住民の方々が参加され、多様な立場から活発な意見が出ました。



それらの意見を踏まえて策定されたまちづくりビジョンをもとに、来年度からは地区計画制度の活用や上里地区を元気にする様々な取組の検討をさらに進める予定です。

【役割／関わり方】

ビジョンづくり全般のトータルサポート

- 上里地区計画事務局会議の運営支援
- 意見交換会（全4回）の企画及び当日の運営（司会・テーブル進行）
- まちづくりニュースの発行支援

なんやかんや「大原野」Instagramフォトコンテストの開催

【事業概要】

「大原野」地域ブランド化の取組がはじまって8年目を迎えました。今年度は、歴史・文化や豊かな自然を有する大原野の魅力を広く発信し、多くの方に訪れてもらうことを目的に、Instagramを利用したフォトコンテストを開催しました。応募総数328作品の中から、厳正なる審査の結果、全体で5作品とひまわりミニコンペ3作品が入賞しました。応募いただいた作品については、今後カレンダー等を制作して大原野のPRに活用する予定です。



2018年度最優秀賞作品
（「rontopen」様撮影）

【役割／関わり方】

フォトコンテスト開催に向けたトータルサポート

- フォトコンテスト開催に向けた企画支援
- フォトコンテストの広報・宣伝のサポート
- フォトコンテスト事務局会議の運営支援

この事業を担当したアドバイザー 吉田 泰基

【伏見区】

伏見をさかなにぎっくばらん

【事業概要】

「伏見をさかなにぎっくばらん」は伏見のまちへの思いをぎっくばらんに出し合いながら、議論を深め、区民主体のまちづくり活動につなげていくことを目的に、伏見区において、平成24年度から始まった事業です。今年度は「ふしぎくガイドブック」を作成したほか、他団体主催のイベントに参加したり、FM845のラジオ番組にてチーム活動を伝えたりして事業PRを行いました。



また、毎月行われる定例会では、初参加者が集うテーブルや、チーム活動にこだわらず、伏見のことや自分の特技などを語り合う「フリーテーブル」を作ることで、年間を通じて、様々なきっかけで「ふしぎく」を訪れる人たちが気軽に継続して参加できるよう工夫しました。

【役割／関わり方】

事業の企画・運営支援

- 「ふしぎく事務局会議」での企画
- 定例会での「はじめましてテーブル」「フリーテーブル」の運営
- チーム活動支援（企画に対する助言やイベントでの司会進行など）

伏見エコライフプロジェクト

【事業概要】

今年度の伏見エコライフプロジェクト事業では、地産地消をテーマにした「区民にぎわいエコ朝市」を開催したほか、取材に出かけて「エコ」をテーマに日々の暮らしで心がけていることや実践していること、そのやりがいや苦労などについてお話を伺い、記事にまとめて「伏見のエコな人図鑑」としてホームページにて発信しました。



また、「伏見エコライフプロジェクト交流会/SDGsからエコビジネスを考える～賢い消費を伏見から～」と題して、伏見での「エコライフ」活動事例を紹介し、伏見のエコに関心を持つ人たちが知り合い、つながる場を企画しました。

【役割／関わり方】

事業企画、取材活動支援

- 朝市・交流会での企画
- 交流会でのテーブル進行
- 取材先との調整、取材への同行、記事の作成や編集

【伏見区深草支所】

『深まるねっと2018』(まちカレ&まちサポ)の事業企画

【事業概要】

「愛着を持って住み続けたいまち・深草」を目指して、深草地域のまちづくりについて学び考え交流する「深草まちづくりカレッジ(略称:まちカレ)」を「健康長寿・地域防災・居場所づくり」をテーマに3回実施しました。また、今年初の取組である、活動団体の自立的な運営や課題解決を個別に支援する「深草まちづくりサポート(略称:まちサポ)」では、採択された3団体の課題整理や取り組みたいテーマの明確化を行い、専門家からの助言を受けました。その後3団体は各々の取組を通じアンケート調査や運営方法のブラッシュアップ、組織づくりに向けた他地域の事例収集など、積極的に課題解決に向けたアクションを行いました。



【役割/関わり方】

まちづくりカフェ事業の企画運営サポートと多様な参加者が集まりやすい仕掛けづくり

- 事業の企画立案・助言・事務局会議進行
- 開催当日の進行とワークショップ運営
- 事業全体の計画づくりとマネジメント
- 各関係者との連絡調整
- 広報支援(情報発信/開催報告)

藤森・地域力アップ学区活動連携支援事業の運営

【事業概要】

京都市では地域コミュニティの活性化や自治会・町内会の加入促進、各種団体の連携促進を目指し「地域力アップ」に取り組む学区を3年間支援する事業を実施しています。採択された4学区のうちの1つ・藤森学区では、各種団体の長らが「地域力アップ推進委員」となり、情報発信及び加入促進に取り組む部会や議題整理・進行を担う事務局を構成し、『ふじのもり通信』(広報誌)を発行するとともに町内会長の意見交換と情報共有を意図したワークショップやPTA層の巻き込みを意図したハロウィンイベントを開催しました。3年間を通じ、毎月集まって地域課題について認識を共有し丁寧に話し合いを重ねてきたおかげで、各種団体同士が連携して取組を進められる良好な関係性の構築が進んでいます。



【役割/関わり方】*地域コミュニティコーディネーターと共に、以下の取組を進めました。

住民が主体となって取り組めるよう、会議の議題整理及び場づくりをファシリテート

- 事務局及び全体会議(部会)の進行補助
- ワークショップの運営支援
- 住民同士の関係づくりと主体性を促進する場づくり
- 取組の企画立案サポート

【伏見区醍醐支所】

醍醐映画プロジェクト

【事業概要】

醍醐地域では、地域のプロモーション、住民の交流機会の形成、まちづくりへの関心喚起を狙いとして、醍醐地域の住民が企画、撮影、出演、上映を行いました。撮影にあたっては、立命館大学映像学部生との協働を行いました。2019年2月時点で、醍醐地域内10箇所で開催を実施しました。まちづくりアドバイザーは、映画作成にかかる以下の一連のサポートを行いました。



【役割／関わり方】

映画作成にかかる一連のプロセスのサポート

- 計画立案の補助
- 製作の方針や方法検討段階のアドバイス
- 製作関係者に対するコーチング

職員研修講師

【事業概要】

まちづくりへの市民の参画と協働の必要性が訴えられて久しいですが、そのための考え方や方法、統計的情報は日々進化しています。しかし、部署によっては日ごろの業務と離れた内容であることも多く、自学自習しようにも十分な知識が得られないということもあります。そこで、市民の参画と協働によるまちづくりにかかる職員研修において、以下のような一連の役割で貢献しました。

クラスター別の性格

	成立年	加入目標	中野村規模	集積水準用集	多い自治体
村集型	70%が1980年以前 1986年以降に 発足した例が皆 無	500世帯未満が 86% 99世帯までで 73%	56%が5万人以 下の小規模自治 体に関する	84%で見られ る	北海道厚別村、 滋賀県栗原町、 高知県土佐町
新都市圏型	1985年以降が 多数 1986年以降が 34%と最大	500世帯未満が 99世帯までで 55%	65%が5~10万 人以下の小規模 自治体に関する	37%とさほど 多くない	神奈川県藤沢市、 愛知県高井町、 広島県安芸高田 市
都市旧型	50%が1980 1986年以降に 発足した例が皆 無	200~499世帯 が35% 500世帯以上を 含めて62%	20~50万人が 30% 50万人以上を 含めると 60%	34%で見られ る	東京都葛飾区、 東京都文京区、 静岡県浜松市、 大阪府大阪市
都市新設型	1985年以前が 多数 86~75年で 73%が発足	200~499世帯 が38% 500世帯以上を 含めると58%	20~50万人が 30% 50万人以上を 含めると 56%	33%で見られ る	大阪府和泉市、 北海道札幌市、 兵庫県神戸市、 大阪府堺市、 大阪府堺市

【役割／関わり方】

職員研修にかかる一連の役割

- 理論や事例、統計調査など、研修に必要な資料のリサーチ
- 研修での話題提供
- 研修の場のファシリテーション

【地域コミュニティサポートセンター】

自治会・町内会等のサポート

【事業概要】

京都市では、「地域コミュニティ活性化推進条例」（平成 24 年 4 月 1 日施行）のもと、地域コミュニティ活性化に関する区役所・支所での相談対応等を支援し、助言、調整等を行う総合的な相談窓口「地域コミュニティサポートセンター」を設置しています。近年、地域コミュニティの希薄化による活力の低下を危惧し、自治会・町内会等の取組に対する支援を強化するため、新たに平成 30 年 5 月からまちづくりアドバイザーが配属されました。



平成 30 年度は、(1) 京都の学区組織の現状把握、(2) 自治会・町内会等の活動事例の収集、(3) 自治会・町内会等への直接支援、などを以下のとおり行いました。

(1) 京都の学区組織の現状把握

市内 222 学区における学区組織の構成は、自治連合会や社会福祉協議会等と自治会・町内会等との関係が地域ごとに異なるため、世帯数や住居形態などの客観的指標の収集や、役員等へのヒアリングにより、組織形態の違いを把握しました。

(2) 自治会・町内会等の活動事例の収集

地域活動への参加を促進するため、これまで「地域コミュニティ活性化に向けた地域活動支援制度」を活用した自治会・町内会、自治会・町内会長アンケートの自由記載欄で把握した地域活動、区役所・支所やまちづくりアドバイザーから情報提供頂いた地域等へ取材し、それらの活動事例を地域特性に応じて体系化しました。

(3) 自治会・町内会等への直接支援

地域コミュニティの弱体化に伴い、地域課題に直面している自治会・町内会等をサポートするため、地域コミュニティサポートセンターに寄せられる相談に適宜対応しつつ、地域力アップ事業や区役所・支所の自治会・町内会支援事業などに同行し、区役所・支所担当のまちづくりアドバイザーと連携しながらアドバイスを行いました。

今後、地域コミュニティサポートセンターや区役所・支所に寄せられる課題を整理し、その課題に対して工夫しながら活動している自治会・町内会等の事例を地域特性ごとに蓄積ながら、地域課題に直面している自治会・町内会等に、より効果的な支援を行います。

【役割／関わり方】

自治会・町内会等へのサポートを強化するため、

- 区役所・支所担当のまちづくりアドバイザーと連携し、事例収集を行った。
- 相談内容やアンケートから、自治会・町内会等が直面する課題を分析した。
- 地域課題に直面している自治会・町内会等へ、地域が主体的に活動を継続していくことを念頭に置いたアドバイスを行った。